

大型クレーンにおいて稼働中、上部回転体が転倒するという事例がありました。特に長期間にわたる港湾水きり等、過酷な作業に従事する場合は、輸送時等で上下を分解する時に、回転ベアリング締付ボルト等の点検（月例または年次）を重点的に実施し、不具合が発見された際には速やかに修正（ボルトの交換等）をしていただきますよう、お願い申し上げます。

*クレーンキャリアと上部クレーン回転体の分解装置としては、テーパピンタイプ機構とCリングタイプ機構のものがあります。

*ボルト交換にあたっては、トルク管理を必ず励行してください。

なお、機種によりトルクが異なりますので、弊社指定サービス工場にお問い合わせください。

